

まちづくり座談会 2015 ～志和公民館～

- ◆日時 平成27年6月13日（日）午前10時～正午
 - ◆場所 志和公民館 生活会館
 - ◆参加人数 18人
 - ◆役場出席者 町長、副町長、教育長、生活部長、経営支援部長、教育部長、長寿健康課長、環境課長、商工観光課長、土木課長、総務課長、国体推進課長、農業委員会事務局長、企画課長、国体推進課職員1人、企画課職員3人
-

質問・意見

①地方創生について

紫波町は、子どもの医療費助成制度が県内でも低い方だと聞いたが本当か。
また「地方創生」とは、いつ、どのようなカタチで行うものなのか。
子育て支援についても、具体的な内容を知りたい。

②移住者対策について

志和地区への移住を考えている人がいたが、上下水道などインフラの整備が重要だと感じているが、どのように考えているか。

③「自治組織の実態調査」について

広報に掲載されていた記事に「課題解決策」とあるが、課題解決策になっていない。
また「今後、社会の変化に対応した自治組織のあり方や町（行政）との関係など、持続可能な仕組みについて検討していきます」とあるが、具体的にどんなことを考えているのか。

④行政区長制度について

5月21日の岩手日報紙面に、盛岡市が「地区担当員」を廃止したという記事があった。
紫波町でも、盛岡市を参考にして廃止したらよいのではないか。
紫波町内には、行政区長、自治会長、農家組合長という3つの役割があるが、これらが混在している。役割を1本化した方がよいのではないか。

回答 企画課長

①子育て環境づくりは乳幼児医療費助成以外にも、総合的な対策が必要だと考えていますが、この場では医療費助成制度の内容について回答します。

回答 生活部長

①県内の医療費助成の現状を見ると、対象を小学6年生までに行っているところが9市、中学3年生までが11市町、高校卒業までが5町村あります。そのような中、紫波町は、人口が3万人を超えている比較的人口規模の大きな町であり、対象者が多くなってしまうことから、助成対象の拡大がなかなかできない状況です。

回答 企画課長

①②インフラ整備については、もし具体的にありましたら後で教えていただきたいと思います。また、「地方創生について具体的な内容を教えてほしい」というお話がありましたが、今回は町から計画を示すのではなく、その計画を立てるために地域の皆さんからさまざまなご意見を伺いたいと思ってまいりました。そのため、移住を希望している人にとって、どんなことが障害になっているのか、ぜひ教えていただければと思います。

③自治組織の実態調査は、町内の実態を明らかにするための行ったものです。それは、町内でも、大きな組織のところ、小さい組織のところ、1行政区に複数の自治会があるところや、複数の行政区で1つの自治会を組織しているところなど、自治組織ごとに事情が実にさまざまだからです。行っている活動内容、抱えている課題、その解決策も、それぞれに異なっているということが、今回の調査で明らかになったと考えています。

④行政区長制度を変えることで、さまざまな課題解決につながるのではというご意見ですが、地域制度においてA町が正しくてB町が正しくないということではないと考えています。それぞれの地域の実情や歴史というものもあります。他の市町村でも、やはり自治体の後継者不足という課題はあるようです。その地域で暮らしている人たちにとって、どのようなカタチにするのが本当によいのか、今後さらに分析が必要だと考えています。

回答 副町長

④「行政区長制度が地域コミュニティにとってどうなのか」という視点から、制度をどのように進化させていくか、今後の少しお時間をいただきながら考えていきたいと思っています。

質問・意見

①オガールの住宅は環境にやさしいということだが、入居条件が厳しいようだ。また、アヴニール紫波のようなきれいな街並みを期待していたが、電柱が立っている。

②オガール施設が3つ建ったが、1階のコンクリートのたたきに亀裂が入っていた。3棟に分かれているうち、真ん中が町の施設で、町が賃料を払っていると聞いている。15年間したら建物は町のものになるようだが、建物をしっかりと見ていないと手直し料がたくさんかかるのではないか。

=====休憩=====

回答 企画課長

質問が多岐にわたっていたため、この場で共有した方がよいと思われる内容について回答します。

①電柱の地中化については、町も初期の計画段階から東北電力に要望をしてきました。しかし、東北電力管内でも住宅地の地中化は数少なく、アヴニール紫波だけと記憶していますが、今後は住宅地の地中化は行わないという方針とのことです。そのため、電柱がなるべく目立たないように、縦ライン1本にそろえるなどの工夫をしています。

②建物の修理については、オガール地区の建物ごとに紹介します。

まず、オガールプラザは官民複合施設であり、建物の真ん中部分（情報交流館や図書館部分）のみが町の建物です。施設の内部については、初期段階に直してもらった部分もありますが、こちらの建物の使い方に原因がある場合はこちらで修繕することとなります。

オガールプラザの向かい側にあるオガールベースは、すべて民間施設であるため、修理も民間で行っています。

役場庁舎については、15年間の維持管理を含めたPFI事業ですので、期間中の修繕などは、契約に基づきPFI事業者に対応していただきます。

質問・意見

近所の配送センターの明かりが明るすぎて、カメムシが大量に寄ってきて困っている。工場や農協、役場にも相談した。それでも解決されないので、再度工場にかけ合って対応してもらった。

また、配送センターからの排水が田んぼに流入してくる問題もある。工場にかけ合い、役場にも相談したが解決しない。保健所に調査してもらった結果「有害な物質は含まれていない」と言われた。役場にも相談しているのだが、連絡がない。解決できないか。

回答 環境課長

担当職員が現地に行って確認をしていますが、特定の対応を取るという連絡は受けていません。再度確認して、ご連絡します。

【補足・対応の経過】

後日再度お話を伺ったところ、排水の問題はすでに解決しており、発言の趣旨は、役場の対応が遅いということでした。謝罪し、今後は迅速に対応することを約束しました。

質問・意見

地区に若い女性が少なくなってきている中で、婦人消防協力隊に決まった人数を出さなければならぬことが大変。人数を減らすことはできないか。

回答 総務課長

志和地区だけでなく、町全体で同様の傾向があります。地域の実情を伺い、個別に相談を重ねていきたいと思えます。来週早いうちに連絡をして、話し合いの日時を決めたいと思えます。

【補足・対応の経過】

翌週来庁いただき、担当職員とお話しし、納得いただきました。

質問・意見

婦人消防協力隊の一番の負担は、やはり消防演習の行進です。地域での広報活動や点検、炊き出しなどの協力はできると思うのですが、特にも年配の方々にとって消防演習の負担は大きいと感じています。もう少し、演習時の負担をゆるめていただければ、地域内での

有事の協力体制は整うのではないかと思います。

回答 総務課長

今年の消防演習でも、婦人消防協力隊の行進は「非常に素晴らしかった」と好評でした。しかし、実際に参加されている方々は大変だと思いますので、消防関係の会議の際に、今伺ったお話を相談してみたいと思います。

質問・意見

志和地区は昔から農家が主体の地域だったが、今では非農家の人もたくさん住んでいるので、田面木地区では農家と非農家で役割を分けています。農家にとっての農家組合は必要なので、地区内で分けて考えてみてはどうか。

回答 副町長

農家組合制度は農協の制度ですが、地域内の役割として混乱していることは事実ですので、ご意見として承ります。

質問・意見

片寄小学校の前に横断歩道があるが、石鳥谷方面から来るとカーブで見えづらく、事故も起こった。カーブの手前に予告信号があれば良いと思うので、検討してほしい。

回答 総務課長

地区の交通安全協会からの改善要望として、提出いただければ幸いです。その後、警察に上申し、県の公安協会などに諮り、認められれば設置されるという流れになります。

質問・意見

片寄小学校前の道路には、小学校の校庭の木がかかっています。その木を切るだけで見通しがよくなると思います。

回答 教育部長

現地を確認して、学校や関係者と相談したいと思います。

【補足】

地区の安全協会と相談し、信号機の案内板を設置する方向で動いています。

◎町長総括

★行政区

町内の行政区は、最小で19戸、最大330戸と幅がある。

また、地区によって日中は不在のアパート住民の管轄をする地区もある。

今後、行政区のあり方について検討していかなければならないと思う。

★人口問題

以前は古館小学校が手狭だったが、現在は日詰小学校が手狭になってきている状況。一方、高齢化が進んできている地区もあり、地域による人口ギャップが生じてきた。地域それぞれの状況に合わせて解決していかなければならないと思っている。

★企業誘致

インターチェンジ周辺については、土地の問合せもある。

企業が来やすくなるように、町としては、農地転用の許可が受けられるように進めています。

まちづくり座談会 2015 ～中央公民館～

◆日時 平成27年6月13日（日）午後1時30分～3時40分

◆場所 中央公民館 研修室

◆参加人数 16人

◆役場出席者 町長、副町長、教育長、生活部長、建設部長、経営支援部長、長寿健康課長、商工観光課長、都市計画課長、総務課長、税務課長、生涯学習課長、国体推進課長、企画課長、国体推進課職員2人、企画課職員3人

質問・意見

国体選手の宿泊先は決まっているのか。

回答 国体推進課長

町内の宿泊施設と近隣市町村の宿泊施設になります。民泊は行わない予定です。

質問・意見

国体ロードレースを観戦する際の駐車場の場所や、レースの見所などを教えてほしい。

回答 国体推進課長

来月号の広報『紫波ネット』や新聞広告などで周知をしていきたいと思います。

質問・意見

長年、結婚相談員を務めている。町では、青少年ホームなどでも、ずっと昔から婚活パーティーをしているが、なかなか結婚が決まらない人（特に男性）が多い。若い人たちが安心して結婚し子育てできる、雇用環境や保育環境を整えてほしい。

8月には、NHKが結婚支援について取材に来るかもしれない。

回答 商工観光課長

働く場を広げる取り組みとして、企業誘致がありますが、現在は土地がない状況です。インターチェンジ付近などへの問い合わせはあるのですが、立地には至っていません。

また、町内企業の採用情報もハローワークに掲載されていますが、求人に対する応募がなかなかない状況です。若い人たちがどのような仕事を望んでいるのかということも踏まえながら、対策を進めていきたいと思います。

回答 生活部長

子育て環境としては、今の保育制度と子育て世代のニーズが合っていないのが現状だと考えており、制度上では待機児童がいなくても、潜在的な待機児童がいるという認識を持っています。子どもを安心して産み育てられる環境として、雇用環境、保育環境の整備が

必要であるとともに、親御さんとお子さんが触れ合う時間も大切であると思います。今の子育て政策のあり方を見直す必要性に配慮しながら、今後の計画を作っていきたいと思います。

回答 企画課長

テレビ収録が決まりましたら、ぜひ町にもお知らせください。

質問

- ①危険な空き家などは取り壊す法律ができたが、町はどのように対応していくのか。
- ②商店街も空き店舗が増えている。何か支援などは考えているのか。また、旧役場庁舎や旧保健センターの使い方などは決まっているのか。
- ③町の特産品をもっと PR してほしい。岩手県もそうだが、PR 下手なのではないかと思う。もっとテレビに取り上げられるような特産品を作るなどして PR をしてしてほしい。

回答 建設部長

①平成 25 年に行われた「住宅・統計調査」によると、空き家率は、岩手県で 13.8%（賃貸住宅を除くと 7.4%）、紫波町では 6.9%（賃貸住宅を除くと 4.2%）という状況です。また昨年、町が行った調査によると、町内には約 407 戸の空き家があり、老朽化などからくる危険・不衛生な建物は 57 戸あることが分かりました。空き家の処分は持ち主の責任で行うことが基本ですが、町としては、このような建物への対応・対策などについて、現在課題整理を始めているところです。

回答 商工観光課長

- ②現在、町商工会では、若手の店主さんが集まり、オガールと連携した活性化を検討しています。平井邸の活用や、空き家の活用を視野に入れているようです。
- ③特産品については、観光交流協会で「おもてなし部会」を立ち上げ、PR の仕方を検討しているところです。東京の銀座にある「いわて銀河プラザ」では、いわちくの肉や青三の漬物などの売れ行きが良いそうです。町には、ワイン、酒、米などたくさんの特産品があるので、それらを組み合わせて PR を進めていきたいと思います。

回答 企画課長

②日詰商店街地区で今年から、オガールプロジェクトでの「大きな公民連携」に対し、「小さな公民連携」として、「リノベーションのまちづくり」を進めていく予定です。6 月 23 日からは、空き家などを活用して事業をおこす人の勉強会を始めます。また、日詰商店街で不動産オーナーや若い方々を集めた勉強会も行っています。さらに 9 月下旬には、全国の若い人たちが日詰商店街のリノベーション物件について利活用の意見を交わし提案していく「リノベーションスクール」を開催します。その題材の 1 つとして、可能であれば旧庁舎なども案件として入れたいと考えております。今後、本当に使用できるのか、今月からコンクリートの状態を調査する予定です。

全国的に地域活性化の成功事例は、基本的に民間自立型です。行政の補助金に頼らない

事業での活性化を検討していきたいと考えています。

休憩

質問・意見

- ①オガール地区の調整池にふたをして、駐車場を作ってほしい。
- ②中央保育所を旧保健センターにつくってほしい。散歩するのも良いし、商店街に人が入ってくることに繋がると思う。

答えはいらないので、検討してほしい。

質問・意見

- ①先日、議会の傍聴をしてきました。議員と職員の名前と顔が一致しないため、座席表があるとありがたい。検討してほしい。
- ②消防団の団員が足りないことについて、自治会の役員に相談が来て困っている。町の防災計画の中にも「消防団の青年団と婦人団の加入の促進」とあるが、区長さんとか自治会ではなく、町が直接説明に回してほしい。

回答 企画課長

- ①議会のことについては、事務局長に直接伝えます。

回答 経営支援部長

- ②消防団員は、520～540 人くらいを確保したいと考えており、毎年、入団する人と退団する人が 40～50 人いる状態です。これからの団員の確保については、町内の企業にも訪問し、お願いしたいと思っていましたのでよろしくお願いします。
-

質問・意見

雇用促進住宅は、平成28～29年までを目処に買い取り手が見つからない場合には、廃止の方向だと聞いている。町での買い取りも行われないと聞いている。現在、70世帯くらいの方々が住んでいるが、小さいお子さんがいる家庭も多い。もし廃止になったら、若い人たちが町内からいなくなってしまうことにつながるのではないか。そうした観点から考えても、町ではもう買い取りの検討の余地はないのか。

回答 副町長

雇用促進住宅は、2カ所あったうち、日詰駅前数年前に廃止になりました。中央公民館前の雇用促進住宅については、町としては、国に対し雇用促進住宅の継続をお願いした経緯があります。

また、住宅を町で取得し、町営住宅化した場合、所得制限などが生じるため、現在住んでいる皆さんが住むことは難しいと思われます。

今後の動きなどについては、明確な情報を得ていませんので、今後確認します。

質問・意見

①オガールに保育所予定地とされている場所がありますが、その場所は駐車場にしてほしい。

②旧役場の跡地には、消防署を移転してほしい。日詰地区 1 分団 2 部の屯所の床がいたんでいるので、消防署移転の際には、一緒に消防車を常駐させてもらえればうれしい。

(答えはいいです)

質問・意見

①下河原ポンプ場から紫波南大橋への堤防計画はどのように進んでいく予定か。

②議会答弁で、下河原ポンプ場について地域民への説明会を行うと聞いたが、どのように行うのか。また、一般サークルなどが参加することは可能か。

回答 建設部長

①堤防工事は国土交通省が進めており、現在、赤石神社の北側まで完成している堤防は、計画としては甘木地区まで行われる予定で、浄化センターから甘木地区までは盛り土が完成しています。

また紫波運動公園から南側については、今後、整備計画に従って、用地交渉や企業の移転交渉が始まっていく予定です。そのため、整備の完了時期などは、まだ明確にお話しすることはできません。

②ポンプ場については、説明会を開催するのではなく、ご要望に応じて説明をするという意味でのお話でした。また、一般サークルの皆さんにも現地案内をしたいと思いますので、遠慮無くご要望ください。また、その場合には、複数のサークルなどでまとまっていたけるとありがたいです。

質問・意見

①今後、町内に住宅建設の許可を行う際、大坪川への雨水の流入が増えないように、必ず規模に応じた調整池をつくることを条件にしてほしい。

②総合体育館について。昨年のまちづくり座談会の前に、総合体育館に行って「大雨以後使えなくなっていて、困っていることはないか」と尋ねたところ「おかげさまでようやく使えるようになった」と返事が返ってきた。町内だけではなく郡大会にも使われている施設であり、イメージダウンにもつながりかねないので、修繕は早めに対応してほしい。

回答 建設部長

①ご指摘の川は、大坪川ではなく日詰川だと思います。下水道課としては、日詰川へのポンプ場整備を最優先事項と考え、地権者や国交省、財政部局と協議しながら、できるだけ進めてまいりたいと考えています。

また、10 戸ほどの住宅地造成など小規模な開発の場合には、調整池の整備の対象にはなりません。しかし、新たな宅地造成などをする場合には、雨水を地下浸透させることができる構造にするなど、今後も指導してまいります。

回答 生涯学習課長

①紫波運動公園と総合体育館は整備してから40年ほど経過している施設で、現在は、1年に1500万円ほどかけて、少しでも長く使えるように計画的に整備しています。子ども、大人、高齢者まで、みんなが長く使えるようにしていきたいと思います。

質問・意見

①マイナンバー制度について、少し説明してほしい。

質問・意見

②城山公園からラ・フランス温泉館にかけての道に、歩道がほとんどない。特に問題なのは、七久保食堂の前。小～高校生が使う道路であり、南側と西側は整備されているが、そのほかは整備されていない。

高齢者が自主的に免許を返還するように推奨されている現代、今後どのように安全に通行すればよいのか。道路の整備計画について、教えてほしい。

質問・意見

③行政窓口について。1つの手続きを行うのに、担当が変わるたびに1から説明をするのが大変。1回で済むようなものを何度も足を運び、2カ月もかかって終えたことが何度もあった。もう少し、役場内で連絡し合ってほしい。

回答 建設部長

②町内には約940kmの町道があり、そのうち2車線になっている道路が主に1級町道と呼ばれている道路です。

ご指摘のラ・フランス温泉館まで延びている道路は、1級町道であり、本来であれば全ての区間に歩道を整備したいのですが、多額のお金がかかるため、町だけで整備することは困難な状況です。また、そのような中で歩道を設置する補助事業に「交通安全施設整備事業」がありますが、その補助事業で整備するためには、歩行者数（児童生徒数）や過去の事故件数などが条件になるため、各学校付近しか整備することができていません。

また、町内には約24kmの都市計画道路の計画があります。そのうち、約70%が完成しましたが、その他30%は、用地や地形、事業費などの課題があって整備が進んでいません。例えば、日詰駅の方から伸びユニバース付近で止まっている道路は、現在紫波総合高等学校の北側の道路につなげる計画があります。しかし、まっすぐな道を作ろうとすると、ダムの堰堤のような道になるため、近隣の方々にとって非常に使いにくい道になると考えられます。そのため、町としましては、現在整備に着手できないでいる約30%の道路については、都市計画道路としての廃止も視野に入れながら、計画の見直しを行う予定です。

現在の道路整備事業は「人にやさしい道路」を作ることを目指し、「お金をかけて立派でまっすぐな道路をつくる」という発想から「人が安全な空間をつくる」という視点に切り替わってきています。

紫波総合高等学校から城山公園に抜ける道路については、歩道整備のみならず、JR 跨線

橋の架け替えなども必要になってくることから、今後、実施計画の着手時期について精査を行っていく予定です。

回答 経営支援部長

③職員の連携がうまくいかず、そのようにお待たせしてしまいましたことは、大変申し訳ありませんでした。今後、長い時間お待たせすることがないようにしてまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

回答 情報政策室長

①番号制度は、不正な給付金の受け取りや、税の未納などを防ぐなど、公正・公平な社会保障制度の確立を目指しているものです。今年10月以降に、順次番号が配られていき、来年1月以降には各種手続きで利用できるようになり、マイナンバーカードが作れるようになります。身分証明にも使用できるようになり、今使用している住基カードと交換することになります。

国の中でマイナンバーの情報を活用し始めるのは再来年1月から、また、国と町とが情報をやりとりできるのは再来年の7月以降であり、現在はそれに向けた準備段階です。

住基ネットの場合は加入しない市町村もありましたが、マイナンバー制度の場合、全国一律で加入しなければなりません。

また、マイナンバーは、国が情報を一元化する訳ではなく、あくまでも町が管理するもので、国が必要な事務の際に自動的に情報を引き出せるようにするというものです。

マイナンバーをいかに便利に利用するかということについては、まだまだ検討段階です。

質問・意見

リスクに対しての体制はどのようになっているか。

回答 情報政策室長

マイナンバーにアクセスできる職員は、町の職員の中でも限られ、不要なアクセスは防ぐということになります。

◎町長総括

★道路整備

費用が高額になるものは、計画的に取り組んでいかなければならないと思う。

★企業誘致

インターチェンジ付近は現在、企業誘致ができるような場所にするため、農地転用を進めているところ。紫波町を中心とした半径30km圏内には60万人が住んでおり、その中心に日詰地区があります。働く場所の確保も大事だが、盛岡北上花巻に通って仕事ができる地区ということでも考えていきたい。

★窓口対応

すぐ取り組める窓口対応などは、すぐに改善していきたい。

★マイナンバー制度

不安な課題があるうちは導入しないよう、国にも働きかけていきたいと思う。

まちづくり座談会 2015 ～赤沢公民館～

◆日時 平成27年6月15日（月）午後7時～9時

◆場所 赤沢公民館

◆参加人数 17人

◆役場出席者 町長、副町長、教育長、生活部長、産業部長、建設部長、経営支援部長、教育部長、長寿健康課長、農林課長、土木課長、税務課長、企画課長、国体推進課職員1人、企画課職員3人

質問・意見

「まち」というのは紫波町全体を指すのか。オガール地区だけか。

回答 総合政策室長

基本的に紫波町全体のことを指しています。

質問・意見

今月号の『紫波ネット』に掲載されていた人口を人数だけ見ると、勝ち組、負け組がはっきり分かったし、人口の減少率で見ると、赤沢が特に大きいことが分かった。さらに、主要作物別収穫面積のデータを見ると、水稻が極端に減り、小麦・リンゴ・ブドウが顕著に増えていることが分かる。このようなデータは大切だと感じた。

また地域別に見た場合、農業において力を入れていくべき農作物などは、どのように考えているか。

回答 企画課長

統計データについては、機会を捉えながら、広報でも紹介していければと思います。

回答 農林課長

水稻については、昭和45年から転作が始まり、今現在、4割以上が転作田になっています。昨年の米価下落もあり、稲作での生き残りは難しくなっている状況です。一番の影響は人口減少にあり、全国の消費者の減少に加え、一人当たりの米の消費量も減少しているため、今後も厳しい状況が続くことが予想されます。

一方、ブドウやリンゴ、モモなどの栽培は、農家の高齢化が課題となっており、働ける人に土地を集積することや、新規就農者の就農を集めていきたいと考えています。また、一番良いと考えるのは、跡取りの人に、兼業であっても農家を継いでいただくことだと思います。企業化という方法もありますが、なかなか難しいと思いますので、定年後に継承するなどしていただければ、町の農業としては生き残っていけるのではないかと思います。町としては、国の助成金なども活用しながら、できる限り事業の継続をしていきたいと考えています。

回答 企画課長

地方創生の方法の一つとして「農業に磨きをかける」という視点もあると考えています。

質問・意見

昭和 50 年代に「家を建てて住むならどこに住みたいか」というアンケートが県内で行われ、紫波町はかなりランクが上の方であった。理由として「県の中央にある」「盛岡に近い」「交通の利便性が良い」「雪も極端に多くなく、良い気候」などが挙がっていた。

また、紫波町には、空き家バンク制度などはあるのか。良い気候に加え、そのような支援があったら、移住する人も増えるのではないかと。

回答 企画課長

その結果が、今の人口減少が緩やかな状況につながっているのではないかと思います。東北地方でも、消滅可能性自治体ではない市町村は、岩手県の中央部と仙台、秋田の大潟村、八戸周辺などの青森県の一部（藤崎町）ぐらいです。

21 世紀社会のキーワードとして「多様性」があるのだと思います。さまざまな選択肢がある地域の真ん中にある当町には、そのようなメリットがあると思いますし、多様化する社会の中で地域がどのように対応していくかということも考えていかなければならないと思います。

回答 建設部長

空き家対策については、現在県内 17 市町村が行っているということが岩手日報で報道されました。ホームページなどで取り組んでいる自治体を調べてみると、それらの自治体は、空き家率がとても高い自治体もしくは景観に力を入れている自治体であることが分かりました。

平成 25 年に行われた「住宅・統計調査」によると、岩手県の空き家率は 13.8%（賃貸住宅を除くと 7.4%）、紫波町の空き家率は 6.9%（賃貸住宅を除くと 4.2%）です。県内の中央部にある市町村では、空き家物件を民間不動産業者が中心となって動かしていることが多く、そのため、そのような市町村では空き家バンクが設置されていない場合が多いようです。

町では、空き家対策特別措置法の施行を受けて、検討委員会を組み、課題整理を始めています。空き家の防犯・防火上の危険回避のため、どのような方法をとっていくことが最も良いのか、検討してまいりたいと考えています。

質問・意見

岩手大学の学生で、赤沢地区に水車小屋を作り、空き家を補修して借りたいという人がやってきた。そのような人もいるので、崩壊しそうな空き家をすぐに壊すのではなく、相談に乗ってくれるようなシステムがあればうれしい。

空き家率は低い方だというのが、赤沢地区はもっと多いというのが現状だと思う。「赤沢は

いいところだね」という岩手大学生もいるので、そのような若い人たちの心をつかむような流れをつくってほしい。

回答 産業部長

数は少ないですが、新規就農者の人で、空き家と農地を借り、農業を始めている人もいます。また、都心で暮らしていた人が農村地域に移住するような事例も増えてきていますので、東京にある定住移住センターなどでも、町の魅力を PR できるものを設置できればと考えています。

質問・意見

総合計画の冊子に「環境に配慮しながら、商業や工業を推進します」という記載があったが、企業誘致の場所として考えられるのは、田舎の方なのではないかと危惧している。しかし、赤沢地区では、自然環境がとても良いということで、環境マイスターによる「あかざわ川自然学校」なども行われている。もし、企業や工場を誘致するなら「環境に負荷をかけない」という決まりが必要なのではないか。

回答 産業部長

工場などが町内に設置される計画がある場合、その規模が一定規模以上になると、関係部署で構成される環境保全委員会で、審査が行われます。その結果として、設置を認めない場合や、一部改善を要求する場合があります。

回答 建設部長

都市計画区域においては、環境保全委員会のほかに、開発時に再度土地利用や生活環境の確保などの観点から計画についても審査を行います。

中には、開発行為として賛否両論のある例として、「太陽光発電」が挙げられます。環境に良いと言いつつ、山を切り開いて設置するような場合もあり、個人的に感覚の分かれる事例です。

いずれ、町としては、町民のためにならない開発は行わないように注意しています。

=====休憩=====

質問・意見

二中のプールの改修計画があったと聞いているが、なくなったのか。

回答 教育部長

設計は昨年行いましたが、本年度は予算が厳しい状況のため、工事は来年度以降に行う予定です。

質問・意見

本年度、高齢者ふれあい事業の予算が減額され、今まで2回だったのが1回に減ったと聞いた。また、各地区でボランティアの皆さんの協力により開催されている「いこいの家」事業の予算も結構削られたと聞いた。回数が減らされるのか、参加者負担になるのか分か

らないが、現在でもスタッフの皆さんは自腹を切る部分もあるなど頑張っている。参加者の皆さんの中には独居高齢者の人もおり、楽しみにしている人も多い。「環境と福祉のまち」として、なんとか復活させてほしい。

回答 長寿健康課長

「いこいの家」事業については、これまで国の補助金で行ってきた事業だったのですが、これまでと同じ内容の事業には補助が出されないことになり、本年度の予算は減ってしまいました。介護保険も今年から大きく変わり、町の総合支援事業として取り組むことになりましたので、「いこいの家」事業も介護予防事業の一環として取り組み、介護保険費用で行うことも考えています。また、携わっているボランティアの方々などにも、研修などを受けていただき、長く事業を続けていきたいと考えています。

高齢者ふれあい事業につきましては、回数を減らさなければならなくなりましたが、老人クラブなど、高齢者を取り巻く事業全体としては、質を維持できている状況としてとらえていますので、ご理解をお願いします。

質問・意見

公民館の運営について。地域課題の解決について、役場の各部署から相談を受けることがある。これからの時代の公民館には、役場と一緒に地域課題を解決する役割が求められるのではないか。

役場の職員の皆さんは、何かお話をされる際、控えめに相談される。しかし、これからの時代に向け、役場内でも公民館の活用の仕方を考えていくことが必要ではないか。その方が、役場にとっても動きやすいと思う。

また、役場ではさまざまな計画が出されるが、もう少し各課で連携し、相互に補完していった方がよいのではないか。それを絡めた活動を公民館でも行えればと思う。

さらに、そのような活動を行う際、専門的な支援を行ってくれる人が活動に入ってくれるような体制を検討してほしい。例えば、役場職員は1人1台パソコンを持っているので、赤沢公民館で他地区の仕事をすることも可能だと思う。予算が絡むと「ちょっと検討してみます」で終わってしまうこともあるので、これからの時代に対応した体制を考えてほしいと思う。

回答 教育長

公民館の法的位置づけは「社会教育施設」となっています。今お話しいただいた内容は、教育委員会の仕事の範囲を超えることとなりますが、「人づくりの拠点」としての役割もあることから、職員を派遣するという考えられるかと思えます。

回答 生活部長

町の計画は、総合計画の中に入れられる計画ですが、1つ1つの計画にこだわるあまり、全体的な視点を見失っていたようにも思います。世の中のものはすべて、分野ごとではなく、関わり合いながら成り立っているものですので、実生活に寄り添いながら、計画をう

まく結びつけていければと思います。今後は、ご指摘いただいたことを反映させながら後期計画を作ってまいりたいと思います。

回答 企画課長

ご指摘いただいたことは、全国的には公民館のコミュニティセンター化として進められているところもあります。町では、今後人口が減少していく中で「どのようなカタチが本当に良いのか」ということについて、議論を深めていく必要があると思います。

質問・意見

大学生の娘が、図書館の上のテラススペースで勉強していたところ、「ここは読書スペース」と言われたそう。学習スペースは堅苦しくて圧迫感を感じるということなので、図書館内でもっと自由に勉強できるスペースを作ってほしい。

回答 企画課長

共有スペースを長時間勉強で使うと一般の人が使えないという場合もありますので、図書館の担当者とは協議しながら、少し状況を見させていただきたいと思います。

◎町長総括

★農業

ワイン生産にブドウが足りないため、現在、ブドウの増産を進めている。

東部は果樹栽培に適した地質であるため、その特性を生かした生産を進める仕掛けづくりが必要だと考えている。

また、町外から移り住み、ブドウ農家として就農している若い人もいる。

★企業誘致

インターチェンジ周辺について問合せがあるので、農地転用ができるように調整しているところ。

★公民館のあり方

これからの高齢化社会の中でのあり方を、整理してまいりたい。

★高齢者事業

「いこいの家」は介護予防でも大事な部分。来年はできるだけ予算措置をしていきたい。

★人口減少と地方創生

現在、日詰地区で宅地造成をすると、すぐに埋まっている様子。交通の利便性も高い場所であり、まだまだ可能性があると思う。

人口減少は、県内の他市町村に比べてまだ緩やかな予測だが、やはり今後は産業につい

て考えていかなければならないと思う。農業をどうするか、地方創生の中での位置づけを
しっかり考えていきたい。

まちづくり座談会2015 ～赤石公民館～

◆日時 平成27年6月17日(水)午後7時～9時

◆場所 赤石公民館

◆参加人数 41人

◆役場出席者 町長、副町長、教育長、生活部長、経営支援部長、福祉課長、商工観光課長、土木課長、都市計画課長、税務課長、生涯学習課長、国体推進課長、企画課長、企画課職員3人

質問・意見

①人口減少のこの時代、計画やまちづくりの考え方もコンパクトにしていった方がよいのではないか。まちづくりの理念はどうなっているのか。

②また「条例をつくろう委員会」というものが以前あったが、現在も適正に運用しているのか。

回答 企画課長

①人口が減るということは、税収も減るということです。そのような時代の変化に対応できるような持続可能なまちをつくっていきたくと考えています。

②町は、協働のまちづくりに取り組んでおり、今も市民参加委員の皆さんにご協力いただき市民参加の推進についてご意見を伺いながら進めています。現在、新設条例に関する市民参加審議は少なくなりましたが、計画策定については定期的に市民参加をいただいています。

回答 副町長

①経済も人口が減ると縮小します。紫波町だけが良くなるということはないので、国や県の動向も見ながら、町の特色を生かしたまちづくりをしていきたいと考えています。

質問・意見

まちづくりとは、課題解決だと思う。しかし、相談しても「計画ありき」「予算がない」ということが多い気がする。町は市民参加をうたっているが、具体的に、実践主義、現場主義、成果主義に切り替えてほしい。持続性というが、継続性が感じられない。

また、町長あての要望は、町長までちゃんと届けてほしい。

回答 企画課長

持続できるということは、自立できるということだと考えます。補助金という制度は、国も県も一定の期間で終わります。補助金がなくなったからできなくなった、ということが無いように、事業主体が自立できるようにしていくことが必要と考えています。

また、町長宛てに来た提案は、町長にご覧いただくというルールを徹底していきたいと

思います。

質問・意見

来年から始まる後期の観光振興計画について。具体的な施策は、どのようなスケジュールで進めていくのか教えてほしい。

また、総合計画の中での歴史・文化の振興についても方向性を教えてほしい。

回答 商工観光課長

観光振興計画は、観光交流協会に携わる皆さんの意見を反映してつくっていききたい。

回答 生涯学習課長

紫波町の文化財は、有形も無形もとても多く豊富。また、児童生徒の社会参加活動も活発で、県内トップクラス。紫波町の豊かな歴史文化を守り、発展させられるように取り組んでいきたい。

質問・意見

①県立病院が無床化されてから、町内に入院できる病院がない。町として、今後どのように対応していく予定か。

②図書館に「名作」と言われている本が集められていない気がする。もっと計画的に図書を充実させてほしい。寄贈図書もちゃんと整理してほしい。

回答 生活部長

町が医師会などと一緒に、平成22年に作成した「町における地域医療の現状」という冊子では、医療制度改革について、①在宅医療の推進②介護予防③特定疾患への対応④住民への医療意識改革の4点について、言及しています。

現在、国の方針では、ベッド数を減らすという方針を示す一方で、地方にお年寄りに移住させるということを打ち出すなど、矛盾も見られますが、国の動向も見ながら、以上4点について進めてまいります。

回答 企画課長

図書館には、全国の図書館と相互貸借の仕組みがあり、借りたい本があれば、全国の図書館から取り寄せられる仕組みになっています。そのため、図書購入の際には、特殊な本などは近隣図書館となるべく重ならないようにしています。

また、寄贈図書を貸し出しするために、書誌データを作成する必要がありますが、古い本のため、その作業がなかなか進んでいない状況です。

質問・意見

①子育て世代は、住宅ローンや子どもの部活、習い事などにお金がかかるため、経済的支援が必要な世帯も多いように感じる。そのためにも、町財政のムリ、ムダをなくするように努力してほしい。例えば、コミュニティバス「すこやか号」や移動図書館「かたくり号」

などを使っている人を、私はほとんど見たことがない。なくすのではなく、方法を見直してもいいのではないか。

②一中の生徒が図書館を出入り禁止になった。ある生徒が床に座り込んだり、スケートボードで遊んだりしていたことが原因だと聞いた。1人のせいで、全生徒が制裁を受けるというのは、よくないのではないか。ルールやきまりで制裁するのではなく、そのような生徒に向き合ってほしい。

回答はいりません。

質問・意見

①一昨年8月9日の集中豪雨で、北日詰の水路が氾濫した。しかし、どこでどのようなことが起き、どのように対応しているのかが分からなかった。災害時に、町内の現状を伝える部署を作るよう、今後検討して行ってほしい。

②ボックスカルバートの修繕工事が行われたが、道路の一部が10cmくらい低い。工事の完了検査はちゃんと行ったのか。

回答 土木課長

②低くなっている箇所は、発注した工事の範囲に含まれていない場所でした。その状況については完成検査を行った際にも確認しており、今後、別途補修する予定です。

質問・意見

町の財政はどうなっているのか。赤字はどうやって改善しているのか。

回答 企画課長

現在、町財政に赤字はなく、借金も必ず返せるように計画しながら、歳入と歳出をやりくりして予算編成を行っています。

紫波町の標準財政規模は約84億円ですが、町の本年度の一般会計予算は133億円ほどになっています。そのうち、約36%が町独自の財源で、約64%は国などから交付されるお金（用途が指定されているお金）です。町財政が厳しくなっていることの原因には、民生費が伸びていることや国の制度変更に対応するための費用がかかっていること、災害復旧が挙げられます。さらに、地方交付税も、リーマンショック以降に加算されていた分が2～3年後にはなくなる可能性が出てきました。今後、国の動向や人口減少にも対応できる財政運営をしていくことが重要だと考えています。

質問・意見

子育てボランティアに携わっている中で、子育て中のお母さんたちの応援が必要だと日々実感している。

先日、若い農家のお母さんたちが自らグループを組んで、非農家のお母さんたちに、ドライフラワーの作り方を教えたいと計画していた。しかし、10人規模の子どもたちを預

ける場所がなかなかないようで、悩んでいる様子だった。

私も子育てボランティアをしているので、できる限り応援したいが、スタッフの高齢化などの現状もある。このように頑張っているお母さん方が、社会参加をし、まちづくりの力になっていく機会を増やしていくためには、仕組み作りを考えなければならないと思う。

回答 福祉課長

今の公的サービスの中では、一時預かりがあります。また、参加グループの中で、交代しながら子どもたちを見るという方法もあるかと思いました。

質問・意見

①地域医療計画について。具体的な行動計画は、どのようになっているのか。

質問・意見

②町の観光資源として、赤石地区の比爪館は非常に重要だと思う。町が「行ってみたい町」から「また行きたい町」へ、さらに「住みたい町」になることで、人口減少対策にもなると思う。また、観光交流協会だけでなく、町内のさまざまな観光団体からの意見にも耳を傾けてほしい。

③小学校の副読本に、比爪館の記述が少ない気がする。

回答はいりません。

質問・意見

④観光振興について、町よりも民間の方の活動が随分進んでいるような気がする。町としての観光振興はどうなっているのか。7月中には、JR主催の「駅からハイキング」が計画されているが、そのような情報の発信はどこになるのか。新庁舎の次は、そのような情報の発信拠点となる文化振興施設や、スポーツ振興施設の整備を具体的に進めてほしい。

質問・意見

⑤町の負債はどうなっているのか。町債比率が下がれば、さまざまな事業がやれると聞いていたが、地区の下水道整備がされていないため、合併浄化槽を使用している。実際は、臭いもするし、川ざらいもしなくてはならない。今年、下水道整備ができると聞いていたが、3月に急きょやれなくなったという話を聞き、地域で悩んでいる。財政状況は思わしくないのか。

回答 生活部長

①「町における地域医療の現状」は、町、紫波郡医師会、「紫波の医療を守る会」で作った計画です。県の医療局にも、町の現状を訴えながら、課題解決への要望を続けていきます。

回答 企画課長

⑤紫波町の標準財政規模が84億円に対し、決算額は139億円となっている状況であり、不足分は、国からの補助金などで賄っている状況です。そのため、計画があるからといって無理をして歳出予算を編成してしまうと、立ち行かなくなってしまう。財政が苦しい中、やりくりをして対応しているというのが現状です。

回答 教育長

③小学校の社会科副読本は3年ごとに改訂をしており、今年はちょうど見直しの時期です。ご意見を受けて、今後検討してまいります。

④「民間の方が進んでいる」というお話は、地域が成熟社会に向かっているということで、良いことだと思います。文化施設・スポーツ施設の整備についても、今後検討してまいります。

◎町長総括

★今後のまちづくりの理念

第2次総合計画で掲げている町の基本理念は大きく変えようと考えておらず、この方針をカタチにすることで素晴らしい町になると考えている。ただし、状況が変わってきている分野については、今後、現状を踏まえて変えていかなければならないと考えています。

★歴史・観光

赤石地区の皆さんには、自らさまざまなものを掘り起こしていただいている。行政にはなかなかできない細やかなことも行っていただいております、それが宝になっていると思う。

観光については「住んでよし、訪れてよし、誇りに思えるまち」ということを柱にして、住んでいる私たちが誇りに思えるようなまちづくりを進めてまいりたい。

★診療センター

私も当時県議会議員として関わっていましたが、県は有床化にするつもりは一切無いと思う。県は県立病院の経営に関し、100億ほど、一般会計からの繰り入れをしている。そのため、もしも紫波町の施設を有床化する場合は、町からの持ち出し金がかかりかかると思われる。

この盛岡から花巻までの地域は、医療に関してはとても恵まれた地域。個人の開業医も医大も県立病院もある。これからは、かかりつけ医と入院は別に考える必要がある。

皆さんには「自分たちの健康をどのように守っていくか」ということを考えていただき、町も皆さんが生きがいを持って元気に過ごせるようにお手伝いをしていきたいと考えている。

★財政

町の予算は、民生費の伸びがあり、とても厳しい状況。本当はもっとさまざまなものに使いたいという思いもあるが、なかなか回せないのが現状。

★人口減少

町は、地理的な条件に恵まれているため、他の県内市町村よりは減少がゆるやかな予測

をしている。しかし、やはりこれからは、子育て世代のニーズに合わせて政策を打ち出していく必要があると考えている。現在、3人以上のお子さんを育てている子育て世代の環境は厳しい状況のため、何かを削ってでも、そちらに予算を回していかなければ、人口減少に歯止めはかからないのではないかと思う。

本日ご意見いただいた内容のうち、すぐに対応できることはすぐに行っていきたい。

まちづくり座談会 2015 ～佐比内公民館～

◆日時 平成27年6月18日（木）午後7時～9時

◆場所 佐比内公民館

◆参加人数 21人

◆役場出席者 町長、副町長、教育長、生活部長、産業部長、建設部長、長寿健康課長、教育部長、企画課長、消防防災主幹、国体推進課職員1人、企画課職員3人

質問・意見

国体に向けて、佐比内産直のトイレも洋式にした方が良いのではないかと思います。

回答 産業部長

今後、検討してまいります。

質問・意見

総合計画について。企業誘致について、今後どのように進めようと考えているのか。

回答 総合政策室長

町の基幹産業は、農林業と考えています。また、町内の製造業で最も多いものは食品産業でありますことから、今後も重要であると考えています。また、企業誘致も合わせて考えていきたいと考えています。

質問・意見

全国レベルの賃金を支払えるようになるためには、何かに特化した、本当に特色ある産業にしていく必要があると思う。

回答 総合政策室長

役場としても、実際に物事を動かす人が必要であると考えており、そのような人材を育てていくことが重要だと考えています。

質問・意見

人が住むには、町として魅力がなければいけないと思うので、よく考えていってほしい。

質問・意見

佐比内地区は商店街も減り、将来どうなるのだろうかと思う。地方創生において、佐比内地区はどのようにしていけばよいのだろうか。既存のものとして考えるとレストランがあるが、レストランの再起も地方創生の近道ではないか。どうにか佐比内が生き残れるようにしてほしい。佐比内地区に住む人が、地区に誇りと自信を持つことが大切だと思うので、よろしく応援を願いたい。

回答 産業部長

レストランなどについては、農林課も加わりながら話し合っているところですので、今後ともよろしくをお願いします。

回答 企画課長

国が掲げる地方創生のビジョンには「自立する地域」というキーワードがあると認識しています。人口が減少し、財政が縮小する中で、持続可能な事業を実行していくことが求められています。そのような中で、多様なニーズに応えられるように、若い人など、多くの人からご意見を伺ってまいりたいと考えています。

質問・意見

地方創生の資料の中に「農林業に磨きをかける」とあるが、どういう意味なのか。今の農業振興地域を守ることなのか、簡易的に見直しをかけていくということなのか。佐比内地区にも農業振興地域を外した方が良い場所がたくさんある。

回答 総合政策室長

資料に示したものは、あくまで参考までに挙げたものです。農業振興地域を外すということは、話し合いの末に必要なとなれば考えていくこととなりますが、現在は未定です。

質問・意見

制度的になかなか難しいという話は聞くが、外した方がよい地域も出てきていますので、よろしくをお願いします。

回答 産業部長

農業振興地域の解除については、以前行われた国のアンケートで、町として「積極的に受ける」という意思表示をしています。

=====休憩=====

質問・意見

①東部地区は、北上川より西側の地区に比べ、生活環境の整備が遅れている気がする。舗装道路や防犯灯も少ないと思う。地域の人口減少の要因のひとつではないか。地域の格差を減らしてほしい。

②防犯灯について、佐比内防犯協会をとおして要望しているが、なかなかつけてもらえない。国体ロードレースの出発地点である佐比内8区の公民館付近の十字路に、ぜひ防犯灯を設置してほしい。また町長には、職員から上がってくる情報だけでなく、自分の足で歩いて地域を見て回ってほしい。

③基幹産業の「農林業に磨きをかける」という言葉に込められた、町長の思いを聞きたい。農業は今後どうなるのか。農業で生活し、子どもを育て、後継者を育てる、ということが続いていくことができるのが「主幹産業」だと思う。もしも、それができていないのであれば、若い人の安定した仕事を誘致することや、起業を支援するなどした方がよいと思う。

④オガールプラザにたまに行くが、人があまり多くないように感じるし、図書館の蔵書もいまいちだと感じる時がある。交流人口を増やすため、もっと創意工夫して行ってほしい。

回答はいりません。

回答 建設部長

②町では、交差点やカーブなどの交通安全上必要な街路灯については、町が設置しています。それ以外の防犯灯については、各地区で設置いただいています。設置費用を負担できない地区については、2年に1度ほど東北電力から寄贈を受ける街路灯を活用してもらうことで、各地区から申請していただき、審査をして設置しています。今年は8基の寄贈を受けましたが、そのうち2基は、東北電力が協賛していることもあり、国体ロードレース会場付近への設置が決まっていますので、残りの6基については公募する予定です。

また、昨年までは電力柱でなければならなかったのですが、今年からはNTTの柱も使えるようになりました。今年も、行政区長を通じて地区からの要望を伺いますので、よろしくをお願いします。

【補足】

後日、内部協議の結果、佐比内サイクルパークにはソーラー式の街路灯を取り付けることとなり、寄贈灯2基は自転車競技場付近に設置することになりました。

質問・意見

砥ヶ崎の田んぼに隠れキリシタンの墓標があったが倒れた。教育委員会にも見せている。観光支援として、修繕するなどの対応してほしい。

回答 教育部長

現地を確認して対応します。

【補足】

現地は確認済みです。現在、壊れている場所を順番に修繕しているところですので、ご理解をお願いします。

質問・意見

松食い虫被害木の処理状況について伺いたい。一昨年8月9日の大雨の後、松食い虫被害木が倒れ、自分の山にも登れない状態。いつごろ対応してもらえるのか。

回答 産業部長

松食い虫対応事業は、昨年まで国から100%費用が出る事業がありましたが、今年からは県の補助事業となり、予算が減少しました。被害場所が広範囲にわたるため、手が回らないというのが現状です。担当につなぎ、順次対応を進めてまいりたいと思います。

質問・意見

マツクイムシの基本的考え方を聞きたい。伐採跡地の植林計画などはあるのか。

回答 産業部長

民間の山々などは個人の財産なので、基本的には個人の対応になります。

昨日、林野庁の次長と話す機会があり、他の地方では15年で木材として使用できるような木々を植林する動きがあるようだと聞きました。

今後、国の指導も受けながら、山の所有者の皆さんに具体的な提案ができるようにしていきたいと思います。

質問・意見

- ①冬季の除雪がなかなか来なくて、雪が溶けた状態で車がとおり、ぐちゃぐちゃになる。町道の除雪をもっときれいに、スムーズにしてほしい。
- ②また立体交差道路が、冬にスリップするので、電熱ヒーターなどを入れてくれないか。紫波南大橋でもスリップが多い状態。
- ③人口減少時代を迎えた今、小学校や保育所はどうなるのか。統合の話は出ているのか。

回答 建設部長

- ①除雪は役場だけでなく、町内建設業者のほぼ全社に、通勤通学路を優先するなど一定のルールを決めて依頼をしています。各社での技術の違いもあり、ご期待に添えていないところもあるかもしれません。ご意見は、今年の除雪に活かしてまいりたいと思います。
- ②スリップに対しては融雪剤で処理させていただいており、電熱ヒーターの設置は、高額な費用がかかるため、現実的には難しいのが現状です。ご理解をいただきたいと考えます。

回答 教育長

- ③佐比内小学校には今年8人が入学し、来年は3人が入学予定です。子どもの人数の減少は、東地区だけではなく西地区でも起きていることであり、町では今年から学校教育審議会を立ち上げ「紫波の子どもたちが、どのような力を身につけていくことが一番よいのか」という考え方で検討してまいります。審議会では、PTAや有識者、地域の方々など、さまざまな人からお話を伺いながら、1年ほど時間をかけて丁寧に考えていきたいと思います。

回答 生活部長

- ③児童館や保育所については、これまでも統合の話が出た時期がありました。当時は、東地区にある保育所と3つの児童館は1カ所ではなく2カ所にした方がよいのではないかと話が出ていたように記憶しています。

しかし、統合については「どのようなカタチが一番良いのか」という視点から、もっと地元の皆さんと一緒に考えていく必要があると考えています。

質問・意見

北上川以東の地区には、ガソリンスタンドがない。もしも橋が落ちるなどした場合、車でとおることができなくなり、有事の際にはとても困る。大迫にはあるが、消防車両のガソリンスタンドカードは紫波専用なので、有事の際には大迫のガソリンスタンドでも使えるようにしてほしい。

回答 消防防災主幹

緊急車両のガソリン代については、各業者さんに呼びかけ、紫波町役場に請求してもらうようにしたいと思います。直接交渉を進めてまいります。

質問・意見

総合戦略に掲げられている「地区センター」とは、公民館になるものなのか。いくつか新設するものなのか。

回答 企画課長

「地区センター」と資料に掲載しているのは、総合戦略として「地域拠点づくり」というテーマがあるため、あくまでも例示として載せたものです。役場の支所という意味ではなく、地域直営運営する商店やいこいの場づくりなど幅広い意味も含め例示していました。

質問・意見

「幸せに暮らせる地域」とはどういう意味ですか。

回答 総合政策室長

町の総合計画で掲げている「環境と福祉のまちづくり」が指す「福祉」とは、狭義の福祉ではなく、「幸せ」という意味です。今回記載している内容はあくまで例示ですが、幸せとは一人一人異なるものですので、人口減少の中でそれぞれの人が幸せを感じられるような地域にしていきたいという思いを込めて、記載しています。

回答 企画課長

ライフスタイルの多様化により、世の中にはさまざまな価値観を持った人が増えていきます。今後、異なる価値観の人が増えていった時に、それに対応できるような地域対応力が必要ではないかと仮説的に考えています。

回答 生活部長

現在の総合計画を作る際に、町内全世帯を対象に生活実感アンケートを行いました。その結果では、9割以上から回答を得たうち、7割の人が「幸せを感じる時は健康を実感する時」、3割超「人とのつながりを感じる時」と回答していましたので、参考までに申し添えます。

質問・意見

今後、自分たちが住む町を「いいところ」と思うことが基本になっていくと思う。NHKなど、多くのテレビで紫波町が報道されているのは、努力の結果だと思う。町長には、新庁舎に入ってから感想をぜひ伺いたい。

質問・意見

佐比内地区内に耕作放棄地が増えてきている。営農組合をやめる人が増えると、東部土地改良区の負担金を払えない人も増えてくる。そうすると、農家からの要望も予算の都合で実現できなくなるという悪循環に陥っている。何とか今のうちに負担金が増えないよう

にしてほしい。

回答 産業部長

耕作放棄地は中間管理機構で増やさないようにしているところですが、実際にはなかなか難しい面もあります。

改良区の負担金につきましては、改良区と相談させていただきたいと思ひますし、耕作放棄地の使い道につきましても、全体的に検討していきたいと考えています。

◎町長総括

★新庁舎

4つの庁舎が1つにまとまり、会議室も増えて大変効率的になったし、今回の豪雨にも対応することができた。事務スペースも広くなり、トイレも格段に良くなったと思う。

★産業政策

町の基幹産業は農業であり、町内の特徴的な企業としてはいわちくや岩手プリミートなどの食品関連の会社が挙げられる。インターチェンジ付近の土地は流通的に恵まれた地区でもあり、問合せもある地域なので、農地転用ができるように対応していきたいと考えている。ただし200人規模の大工場の誘致場所は、4号線沿いの一部など、本当に限られた場所しかないと思われる。

★農業

年々リンゴの評価は高まっており、ブドウもワインの材料として生産を増やしていく必要があるので、今後それらのニーズに対応できるように体制を整えていきたい。

★人口減少

人口減少は日本全体の問題であり、紫波町だけ増えるということはない。人口減少を緩やかにするためには、子育て世代への支援が確実に必要だと思ひます。産んで育てやすい環境をつくることが町の役割であると認識している。

★ロードレースコース

照明などの整備はできるだけ早く進めたい。

★農業生産者

農地集積などについては、国の政策もあり、国内全体の需要と供給の関係もあるため、町の予算規模ではいくらお金を出しても足りない状況になると考えられる。

それぞれの家計を支えるのは、これからの若い人たちであり、職業もそれぞれの思いで考えて選んでいただきたい。町はその上で、それぞれの人の思いを支援したいと思ひます。

★佐比内産直

今あるカタチを、始めた当時とこれまでの経緯を見ながら、考えていかなければならないのではないかと思います。

大手資本であるコンビニとどのように対抗していくのか。商売のカタチが変わっていき
ているのだと思う。

★財政

民生費が大きく増えてきており、自由に使えるお金が非常に少ない状況。人口減少ととも
に、どのように運営していくかを考えていく必要がある。

★人口減少時代の子どもたちの環境

子育てについては、町としても投資をしていかなければいけないと考えている。一連の
ことを一緒に考えていきたい。

すぐ対応できるものは、すぐに進めていきたいと思う。

まちづくり座談会 2015 ～彦部公民館～

◆日時 平成27年6月19日（金）午後7時～9時

◆場所 彦部公民館

◆参加人数 20人

◆役場出席者 町長、副町長、教育長、生活部長、教育部長、環境課長、土木課長、総務課長、国体推進課長、企画課長、企画課職員3人

質問・意見

プレミアム商品券の発売期間が短いのではないかと。1カ月くらいにできないかと。

回答 副町長

どのくらい売れるか分かりませんが、期間中に売り切れなかった場合には、引き続き販売していく予定です。

質問・意見

国体の会場となる競技場、ロードレース会場には、どのように行くのか。また、駐車場はあるのか。

回答 国体推進課長

自転車競技場の駐車場としては、現在土砂置き場になっている敷地を片付け、約350台分の駐車場を確保する予定です。また、状況によっては、JAいわて中央本所の駐車場をお借りし、競技場までシャトルバスを運行する予定です。

ロードレース会場には、約250台が駐車できる「佐比内サイクルパーク」を整備中です。

8月に行われるリハーサル大会に向け、通行止めの時間や会場への行き方などは、広報や新聞紙面で随時お知らせする予定です。

質問・意見

自転車競技場は、県内で唯一。また、サイクルパークも整備されるため、国体が終わってから、ロードレースが行われるようにしてほしい。

また、国道456の歩道幅をもっと広げることにより、国道を通行止めにしなくてもロードレースが行えるようになり、サイクルロードとしてずっと使えるようになるのではないか。将来的に向けて検討してほしい。

回答 国体推進課長

ご意見として承ります。全国クラスのロードレース大会をできる限り誘致し、サイクルパークを活用していきたいと考えています。

質問・意見

地震と気温の観測地点について。地震はこれまで矢巾町と比べて1程度低くてよかった。気温は、稲藤地区の観測所になってから、最低気温が低い日が多くなった。町のイメージの低下につながり、住宅販売や人口減少に影響があるかもしれないので、場所を移設した方がよいのではないか。

回答 副町長

地震の震度計は、これまで庁舎の北側にありました。震度計は、小数点1位まで出るもので、四捨五入で震度が報道されます。そのため、矢巾町との震度の違いは1ではなく小数点以下という場合もあります。

気温の観測地点は稲藤地区にあり、町でも气象台に移転をしてもらえないかと話したことがあるが、移転にも費用がかかるため、できないということでした。

現在の位置は、田んぼの真ん中で吹きさらしであり、滝名川の近くでもあるため、町全体の平均気温が計測されているのかというと、そうではないような気がします。今後も機会を見つけながら气象台に働きかけていきたいと思えます。

=====休憩=====

質問・意見

- ①ロードレース中に、レースの途中経過などをどこかで流す計画はあるか。
- ②また、佐比内地区で電話が通じない区間があるようなので、つながるように整備してほしい。私はドコモの携帯電話だが、佐比内小学校の校庭でつながらなかった。

回答 国体推進課長

①今年のリハーサル大会では、カメラバイクでの撮影を予定しています。その様子は、サイクルパークのモニターに映し出す予定です。

回答 企画課長

②携帯電話がいずれのキャリア会社も入らない不感地帯としては、現在、町内では山屋地区だけとされています。ご指摘の場所は、私どもも認識していない地区かと思えますので、後で調べた上、全社入らないのであれば各キャリア会社に要望していきたいと思えます。

また、674局エリアは、光回線が引かれていない状況であることから、住民アンケートを実施し、結果を持って会社を回りました。しかし、思うように進んでいないのが現状です。県の協力を得ながら、今後も粘り強く要望してまいります。

質問・意見

「地方創生」において、雇用対策の話が出ているが、農林業だけではなく中小企業の事業者に対してもっと目を向けてほしい。

また、紫波総合高校の生徒を採用してほしいとよくいわれるが、採用募集をしても、紫波町や紫波総合高校からの募集はなく、町外からばかりである。

もうすでにこのような状態になっている状況では、手遅れなのではないのか。

答えは必要ありません。

回答 副町長

まずは、地方と首都圏の最低賃金格差の是正をしていく必要があると思います。水は高いところから低いところへ、人は賃金の低いところから高いところへ行くのです。この格差のある状況で、地方への移住を促すのは無理があるのではないかと疑問に思うところがありますし、ベッド数を減らすのに高齢者を地方に移すという政策など矛盾した政策も見られます。紫波町が個性的なまちづくりを進めていくためには、国や県の動きも注視しながら、町の皆さんがブレを感じないようなまちづくりを進めていかなければならないと考えています。

質問・意見

大雨時の情報について。大雨が降ると鉄道下の立体交差が冠水するが、現在どの道が通れるかという情報が分かれば便利だと思う。専用ダイヤル回線などがあったら良いのではないか。

回答 総務課長

大雨時の町内の危険状況などは有線やホームページ、重大な情報はエリアメールでお知らせしています。立体交差の通行状況については今後、通行者の皆さんに伝えられるように、現場で分かりやすくお知らせしてまいります。

回答 副町長

道路の交通情報は今後、ホームページでもお伝えするようにしたいと思います。

質問・意見

平成十何年かの水害時、もう水がすぐ迫っている状況で「避難してください」と言われた。二中に避難したが、寒くて眠ることもできなかった。災害時は、もう少し早く情報を出してほしいし、早めに動いてほしい。また、大雨により紫波橋が通行できなくなってしまうのもとても困る。

防災マップについては、地域の方々からよく話を聞いて、作ってもらいたい。

回答 副町長

先日6月16日の大雨時には、1時間当たり95.5mmという観測史上最大の降雨量を観測しました。今回の大雨は、雲の流れによる予想ができるものではなく、上空で雲がわいたり、消えたりするような状況により発生したものです。一体どこで激しい降雨になるのか雲の状況から判断できなかったため、念のために町内6地区に避難勧告を出しましたが、1人も避難者はいませんでした。

今後は、地域の方々のこれまでの経験を生かしながら、防災マップを作っていきたいと考えています。

質問・意見

- ①町政において、熊谷町長のカラー、目新しさが感じないと思う。町長の考えを伺いたい。
- ②星山犬吠森のほ場整備事業を進めているが、町の補助は5%しかない。米価は下落し、担い手はいない状況。農業の存続が不透明な中で、ほ場整備にかかる工事費などを25年かけて償還するとなった場合、果たして返すことができるのか、懸念しています。

回答 副町長

- ①町長から最後に回答します。
- ②農業が大変であるという状況は認識しており、東北農政局長には、農家の皆さんが安心して事業に取り組めるよう、10年～20年後の長期ビジョンを示した上で政策を進めてほしい、農家を実質的に潤うような農政を進めてほしいと要望してきました。

いずれ町としましては、ほ場整備事業の補助率は5%で進めていきたいという思いです。

質問・意見

長岡地区や水分地区でも5%で行われたわけだが、農村公園の整備や道路の拡幅など、良い面もあった。せめて、彦部地区でも、子どもたちの通学路となっている火葬場から県道川井線までの道路に歩道をつけてもらえないか。なんとか地元負担を少なくしていただきたい。とても今の状態では、後世に引き継ぐことはできない。

回答 副町長

持ち帰らせていただきます。

質問・意見

東部地区に介護老人保健施設を作れば、雇用も生まれるのではないか。

回答 生活部長

現在行っている介護保険事業の中では、施設が増えれば皆さんの負担が増えるということもあり、雇用創出と負担についてより具体的な検討が必要です。今ここで即答することは難しい状況です。

質問・意見

教育振興だよりや農業委員会だよりは、広報を月2回発行する時に、集約することになったはずだが、今は、また個別に冊子が出始めている。班回覧なども含め、個別の情報を集約し、まとめてほしい。難しいかもしれないが、社協だよりもまとめられないか。まとめることで、記録性を持たせられるし、手にとってもらえることにもつながると思う。広報はもっと厚くなっても良いと思うので、できるだけ1冊にまとめるように検討してほしい。

回答 副町長

ご要望と受け止め、検討します。

質問・意見

①学校の統廃合について

これだけ人数が減ってきている今、少人数もいいが、団体の方がよい部分もあるのではないか。学校はコミュニティには必要な施設かもしれないが、議論を深めていく必要があるのではないか。

②水害対策について

国が進めている堤防整備計画について。対岸だけの整備が行われると、彦部地区の被害が広がる可能性があるので、川東地区側の整備も進めてほしい。

回答 教育長

①今年から、学校教育審議会を立ち上げ、委員を公募などで集め、少子化時代における町の教育のあり方について、総合的な答申を行っていただく予定です。

回答 土木課長

②国の河川整備計画では、平成14年、19年の洪水で家屋が浸水した場所から優先的に整備が進められており、甘木地区の堤防整備は平成27年度に完成する予定です。この甘木堤防の完成による対岸への影響は推測しかねますが、北上川が大きく蛇行していることから、地元主催の懇談会などにおいても、被害拡大を懸念するご意見をいただいています。

町としては、昭和40年代に整備が途中で終わっている彦部地区側の堤防についても、甘木堤防との一連区間として整備いただくよう国に要望してまいります。

◎町長総括

★町の施策全体

これまで「環境と福祉のまち」を否定する何ものもない。カラーを出すとすれば今後の個々の計画からとなる。

現実に起きていて対処しなければならない事案が山積しているが、国や県に要望しなければならないものは継続的に要望し、町の予算で行わなければならないものは優先順位をつけて順次進めていきたい。

そのため、私のカラーよりも、1つ1つの課題解決を進めていき、町の皆さんの生活に支障が生じないようにしていきたい。

★少子化について

町内の保育施設は大分老朽化が進んでいる。地域のご意見を伺いながら、ニーズに合った施設にしていきたいと考えています。

まちづくり座談会2015 ～古館ふれあいホール～

◆日時 平成27年6月20日（土）午前10時～正午

◆場所 古館ふれあいホール

◆参加人数 34人

◆役場出席者 町長、副町長、教育長、生活部長、建設部長、経営支援部長、福祉課長、商工観光課長、土木課長、都市計画課長、税務課長、国体推進課長、企画課長、企画課職員3人

質問・意見

①プレミアム商品券の販売場所は1カ所ということだが、混乱するのではないか。何か対策はしているのか。

②大雨時には、水没被害を減らすため、アンダーパスを早めに一時的通行止めにするのができないか。

③自主防災組織を立ち上げた後の支援は、どのようになっているのか。

回答 商工観光課長

①スムーズな引き替えができるように協議してまいりたい。

回答 土木課長

②最近の雨の降り方が局地化、集中化、激甚化しており、早めの予測や対応が難しい状況です。冠水時の車両進入を防ぐため、水位を感知して警報装置に「通行止」を標示するなどの対策も考えていますが、設置には多額の費用がかかることが見込まれています。

まずは、冠水時の通行に注意を促すために、町道4カ所のアンダーパスに水深標示や看板を設置したところですが、今後も事故防止に向けて注意喚起などの対策を講じてまいります。

回答 経営支援部長

③昨年は、古館ふれあいホールで、町内各地区の自主防災組織のリーダーを対象に、情報交換や研修を行いました。また、盛岡地区で行われるリーダー研修会への派遣も行っています。さらに、各地区での説明会の際にお邪魔し、それぞれに呼びかけや対策も行ってまいります。町から、職員を派遣することもできますので、ご相談ください。

質問・意見

住民異動をしても住民登録をしていない人がいるようだが、法的には問題ないのか。

回答 生活部長

人それぞれの事情があり、登録していない人がいることは認識しています。

町としましては、時々、区長の皆さんを通じて調査したり、登録を促したりすることも

しています。

昼と夜の人口の差は、国勢調査で分かったりもするので、実際に住んでいる人と住民登録している人の差がなるべく開かないように今後も努力してまいります。

=====休憩=====

質問・意見

- ①町の空き家はどのくらいあるのか。
- ②町営住宅は今でも建築しているのか。また、今の入居率はどのくらいか。
- ③県内17市町村は空き家対策を取っていると日報に掲載されていたが、紫波町は含まれているのか。関連で、リフォーム事業が中止になったと聞いたが、今後はどうなるのか。
- ④人口問題研究所の推計に関して、具体的な対策をしているのか。
- ⑤旧庁舎の活用方法は決まっているのか。

回答 建設部長

①③昨年、総務課で実施した空き家アンケート結果では、町内に407戸の空き家があり、そのうち57戸が取り壊しの必要ありと見られています。一方、H25年に行われた「住宅・統計調査」によると、岩手県の空き家率は13.8%（賃貸住宅を含まない場合は、7.4%）、紫波町の空き家率は6.9%（賃貸住宅を含まない場合は、4.2%）と見られており、紫波町は今のところ比較的低いことが分かっています。

町では現在、空き家対策特別措置法の施行を受けて、検討委員会を組み、課題整理を始めるところです。

また、町ではリフォーム助成事業として、毎年20件ほど助成を行っております。平成32年までに約230戸の達成を目標にしていますが、平成26年度までに8割以上を達成している状況です。ただ、今年は町財政が厳しいことから、一時事業を中止しています。

回答 土木課長

②町営住宅は現在、6団地247戸があります。最も新しい住宅としては平成5年から17年にかけて整備した朝日ヶ丘北住宅がありますが、平成40年代後半から53年にかけて整備した古い住宅もあり、建て替えの検討が必要な状況です。

広報などでお知らせし、毎年6月頃に10戸ほどの募集を行っていますが、平成24年、26年には年に2回募集しました。

住宅の中には、老朽化により提供を見合わせているものや、災害時に急遽提供するために確保しているものなどがありますが、入居可能な空き住戸はない状態です。

回答 企画課長

④人口対策につきましては、まずは町民の皆様からご意見を伺い、計画に反映させていきたいと考えております。30・40代のマイホーム世代をどのようにして増やすか、また、どのようにすれば選んでいただけるのか、という視点で考えていきたいと思っております。

⑤旧庁舎については、現在のところ、公共施設ではなく、民間に貸し付ける方向で調査を

始めています。コンクリートの質の調査も今月から開始し、民間で活用できる方法がないか考えてまいります。

回答 福祉課長

④人口対策の1つとして、今年、各市町村が負担金を出し、県において結婚支援センターを立ち上げました。統計的には、当町で毎年200人を超える出生数を確保していくことで、激しい人口減少を抑えることができると見られています。町としましても、子育て・保育ニーズに合わせ、今後も保育所や幼稚園と協議しながら、子育て環境の対策を講じてまいります。

質問・意見

少子化対策ばかり言われているが、高齢者が増えることも考え、老後を生き生きと暮らせる町づくりについても話を聞かせてほしい。

回答 企画課長

今回は、地方創生の中心的課題である人口減少への対応を中心にお話させていただきましたのでご理解願います。

回答 生活部長

高齢者支援という面では、「いつまでも元気に過ごせて、人生を全うする」ことが目標であり、そのためには生きがいを持って日々過ごせる環境が必要であります。その環境は、町だけではなく、一人一人の周りの方々や、地域の方々がお互いに関わり合ってつくりあげていくものだと思います。

古館地区には「田舎の茶の間」という、地域の方々のいこいの場づくりが行われています。町としては、1つのモデルとしながら、他の地域にも活動が広がっていけばと考えています。活動のポイントとしては「お互いが役割を持って関わること」で、老化防止にもなると思われまます。

旧保健センターに設置していた筋力トレーニング設備も、総合体育館に移設する段取りが終わり、7月から再使用できるようになります。

町としましても、みんなが一緒にお互いを支え合う支援策を考えてまいります。

質問・意見

①企業誘致について。町では、どのように進めているのか。進捗状況を伺いたい。

②子どもたちの交通安全対策について。危険な場所が色々あるが、さまざまな規制があり、断られる場合が多い。もっと柔軟に対処してほしい。

回答 商工観光課長

①企業誘致の場所として考えているのは、犬渕工業団地、南日詰、インターチェンジ周辺の土地であり、いずれも民有地です。

インターチェンジ周辺については、農業振興地域に指定されている土地であるため、そ

の指定が変更されるように進めているところです。

回答 経営支援部長

②通学路については、総務課の消防防災室、一般道路については、土木課が担当しています。地域の安全協会から年間をとおして要望を受けており、各地区から要望をいただいていますので、順番に進めてまいります。まずは、地域の安全協会にご相談ください。

質問・意見

- ①よく使われている言葉「豊かな公」の意味が分からない。
- ②市民参加条例が形骸化していると思う。職員が期日を守っていないということを聞いたことがある。ちゃんとやり方を徹底してほしい。

回答 総合政策室長

①「豊かな公」の意味する「豊かな」は「一人一人の幸せにつながる」という意味で、「公」は役場のことではなく「市民みんなの社会」という意味。第二次総合計画を策定する際に、市民会議で決まったものです。

回答 企画課長

②最後に町長総括で触れさせていただきます。

質問・意見

- ①旧庁舎跡地に、木造で円形の飲食店街を作ってはどうか。真ん中には緑の芝生を入れ、人々が集まる場にしてほしい。個人的には、ワンタンがおいしい店や焼き鳥屋があったらいいと思う。
- ②紫波町は何の町と言えよのか分からない。ヒメノモチや果物という人もいるかと思うが、いまいちピンとこない。例えば、女性だけの餅つき隊を作り、花巻空港から直通出行ける台湾などでPRしたらどうか。また、餅料理コンクールを開いたりするなど、何か工夫して、交流人口を増やすことにつなげていけたらと思う。

回答 商工観光課長

②餅つき隊としては、農協女性部による紫波ひめ隊があり、多少費用もかかりますが、結婚式などへの出張も行い、餅文化を全国に発信するために頑張って活動しています。

質問・意見

①マイナンバー制度が始まり、マイナンバーカードというものが配られるようだが、資料に「住基カードと重複しないように」と書かれている。住基カードを持っている人は、マイナンバーカードに自動更新できるようにしてほしい。

質問・意見

②マイナンバーの管理と運営、運用方法について知りたい。情報漏洩や特殊詐欺につながる心配。

質問・意見

③社会福祉協議会の場所がとても不便。今後どのように考えているか。

回答 情報政策室長

①マイナンバー制度は「社会保障と税の一体改革」として、公平な税の負担、社会保障の支給漏れを防ぐことを目的とした制度です。

住民基本台帳ネットワークへの加入は「自治事務」として各地自体に任せられていましたが、マイナンバー制度の導入は「法定受託事務」として必ず行わなければならないものとなります。

住基カードは発行から10年間有効ですので、その期間は自動交付機を使えるようにしますし、新しいマイナンバーカードに引き換えた後でも、同じ機能に利用できるようにしていきたいと考えています。

②情報漏洩への対策としては、第三者委員会の設置や国への報告などが挙げられます。皆さんが安心して制度を利用できるように、詳しい内容は、今後の制度の進行に合わせて広報などでお知らせしてまいりたいと思います。

回答 企画課長

①②町としましては今後、職員教育を徹底するとともに、ハード・ソフト双方のセキュリティも高めていきたいと思っています。

回答 福祉課長

③福祉センターは、かつて町や県、自転車振興会からの補助金をいただいて建てたものです。このことから、途中で利用目的を変更した場合、補助金の返還が生じてしまうため、これまでは移転の検討を行いませんでした。今年で建ててから30年間が経過しましたので、補助金のこと確認しながら考えていきたいと思っています。

◎町長総括

★市民参加条例について

市民参加条例の指数が上がっていないということの原因が職員にあるのであれば、変えていかなければならないと考えている。さまざまな施策の目的を達成するためには、ただカタチだけの計画を作るのではなく、市民参加が必要であると思う。これからも連携して施策の目的を達成していきたいと思う。

★福祉センター

冬は確かに不便であるとともに、福祉センターの利用者には高齢者や障害者の人も多いので、日詰のまちの真ん中に移すことや、今の福祉センターの建物を別の用途に使うことも考えられるのではないかと思う。

★仕事

昨日の東部地区で、農業の担い手不足の話題が出たが、先ほどどなたかからは「何か仕事はないか」という話も出た。先日シルバー人材センターの総会もあったが、会員数が少しずつ減っているそうである。このようなことを組み合わせで何か解決できることはないか考えているところ。

★旧役場庁舎の土地

基本的にはリノベーションで活用する方向で考えている。費用対効果を考えながら、進めてまいりたい。

まちづくり座談会 2015 ～長岡公民館～

◆日時 平成27年6月20日(土) 午後1時30分～3時30分

◆場所 長岡公民館

◆参加人数 10人

◆役場出席者 町長、副町長、教育長、生活部長、建設部長、福祉課長、農林課長、税務課長、国体推進課長、企画課長、消防防災主幹、企画課職員3人

質問・意見

- ①人口減少について。子どもが減っているが、何か対策は考えているのか。
- ②有害鳥獣が出没し、被害は少ないがその影響を受けている。もう少し積極的な対策を進めてほしい。また、具体的な取り組みはどうなっているのか。
- ③まちのこれからの展望を聞きたい。

回答 農林課長

②鳥獣被害には、人的被害と作物被害があり、東部地区では人的被害は比較的少ない状況です。クマはわなによる駆除実績がありますが、シカは箱わな・くくりわなを使用した捕獲に成果が出ていません。有害鳥獣を農地に近づけないことが被害の軽減につながりますので、農家の皆さんには、今後とも追い払いの積極的な実施をお願いします。

回答 企画課長

- ①人口減少は税収減少にもつながりますことから、持続可能性について留意しながら、できることを探っていきたいと考えております。
- ③最後に町長からお話します。

質問・意見

先ほど、人口問題研究所のデータが示されたが、紫波町は消滅可能性がなくても、長岡地区は消滅可能性のある数値になるのではないか。同じ町の中でこのような差がある状態に、どのように対応していくのか。

回答 企画課長

東北の人口減少は昭和30年代から一部地域で始まっており「過疎」問題が課題となってきました。過疎の市町村から県央に人が移住し、盛岡市などを中心に人口が増えてきた時代から、今は町内で同じような現象が起きてきているのだと捉えています。

今後、地域としてどのように対応していくかが重要だと考えています。

質問・意見

社会減と自然減は、地域ごとに見るとどうなのか。

回答 総合政策室長

長岡地区だけを切り取って転入・転出を表現したデータはないのですが、今回お示ししたデータなどの現状を踏まえて、どうやったら地域を盛り立てていったらよいのかというヒントを皆さんから教えていただきたいと思います。

回答 企画課長

本日お示しできるデータはないのですが、長岡地区をコーホートで分析すると、長岡地区は18歳から35歳ぐらいまでの人が転出し、地域に戻っていない状況が分かります。なぜ出て行くのかを考える必要がありますし、やはり働く場所についても考える必要があるのかと思います。

質問・意見

私が子育てをしていたころも、保育所や学童保育の時間が短く、働きに行きたくても行けない状態だった。現在も同じような状況であり、そのことが原因で、長岡地区から転出していった人も何人か知っている。人口流出の1つの原因になっているのではないか。

回答 福祉課長

長岡地区の保育所利用者の中には、預かり時間の長い、職場近くの保育所を希望し、預けている人もいます。

学童保育といわれる放課後預かりの「こどもの家」に関しては、地域の方々の支援により、公民館や児童館で預かる方法をとっている地区もあります。また、中央部のこどもの家ではスタッフが集まらない現状があり、困っている状況です。地域の皆さんによる動きがありましたら、町としても協力していきたいと思えます。

質問・意見

人口減少は、以前から言われていたこと。今、このことを話題にするというのは「仕切り直し」ということなのか。人口減少への対応には、雇用対策が必須なのではないか。

回答 企画課長

このたびは、「地方創生」ということで、人口問題に対し、国をあげて取り組むことになりました。オガールプロジェクトの仕組みも、1つの事例として評価されています。

また、昨年は「子ども・子育て新制度」ということで、国による子育て支援の充実が図られました。ご指摘のとおり、働くことにも焦点を当てていきたいと考えています。

質問・意見

先ほど、〇〇さんが話したとおり、地域の方々が働ける環境をつくることは、雇用創出よりも大切なのではないかと。企業は赤字になればいなくなってしまうし。

回答 企画課長

学校卒業後、家を買って、子どもを産んで、子育てをして…ということが継続的に行われていくためには、何が必要なのか。総合的に「住みやすさ」を考えていく必要があると

考えています。

=====休憩=====

質問・意見

- ①先日の豪雨で、時間当たり過去最大の大雨が降ったが、どのような被害があったのか。
- ②長岡小学校の児童は現在83人。複式学級になるのは間近なのか。
- ③長岡地区には国道が2本ある。3年ほど前の農業振興地域の見直し時には「長岡地区には柔軟に対応していく」という話があったと記憶しているが、どうなっているのか。

回答 消防防災主幹

①先日は、1時間当たり95.5mmという過去最大の豪雨となりました。これは、県内でも他に類を見ないほどだということです。避難勧告が遅れてはいけないということで、土砂災害注意報が出たことに合わせ、西部・東部地区には避難勧告を出しました。

被害としては、立体交差2カ所に4台の車両が水没したほか、停電が628世帯(赤石)、けが人1人(中学生)、床上浸水2件、床下浸水4件などがありました。

回答 教育長

②複式学級になるのは、2つの学年を足して16人になった場合であり、規定されているものです。そのため、来年入学する4人の学年が小学生のうち、制度的には複式学級になることと思います。

町全体で見ても、東地区だけでなく西地区でも少子化になってきている状況です。

町としては「単純に人数が少ないから統合する」ではなく、今年から少子化時代における町内の学校教育について考えるため、学校教育審議会を立ち上げ、これからの時代を生きていく子どもたちがどのような力を身につけていく必要があるかを考えていきます。

回答 農林課長

③農業振興地域の整備計画は5年ごとに見直しをしており、次回の見直しは平成29年度に行う予定です。計画時には順次お知らせしていきます。

質問・意見

学校の統廃合について、よくあるのは、児童生徒が多い学校に少ない学校が加わるというやり方だが、多い方の学校が、少ない方の学校に加わるという発想にしたらどうか。

回答 教育長

町内の小学校では、分校時代を除けばそのような統廃合は行われてきていませんが、ご意見として承ります。

質問・意見

私は、複式学級自体もいびつだと思う。スポーツをするにも、大会に出ることができないということも出てくる。

回答 教育長

さまざまなことを含め、子どもの教育全体をどうしていくかということを考えていきたいと思います。

質問・意見

- ①まちづくり座談会でたくさん話題が出たにもかかわらず、広報には数個しかのってなかった。どうしてか。インターネットや財産管理の話なども出たはずだ。役場内部のことが載っていないように感じた。それでいいのか。
- ②公民館の予算が40%カットされたのはなぜか。新庁舎を建てたからか。5%の消費税が8%になったが、もっと早くやった方が良かったのではないか。

回答 企画課長

- ①広報紙は紙面の関係もあるので、全体で共有した方が良い内容を重点的に掲載しています。議事録は作成後、ホームページに掲載したいと思います。
- ②庁舎建設は計画を作って進めてきたもので、4つに分散していたものを1つにするなど、さまざまな方面からご意見をいただき、ある程度の時間が必要でした。消費税については、本体工事の大部分は発注時の税率5%で行えましたが、変更した工事などで増額した部分は、8%での発注になっています。

一方、町の財政においては、民生費（子ども・子育て新制度への対応、障害者への給付、介護保健への繰り出しなど）が毎年伸びており、税収が思うように増えていない中でやりくりしている状況です。

また、一昨年8月9日の災害では、約30億円の復旧工事が必要になり、国からの補助金もありますが、町が財源を手当てする金額も多額となっています。災害復旧工事は本年度が最終年度となりますが、この影響があるため、今年から来年にかけては依然苦しい状況となります。

質問・意見

公民館費の復活要求はできないのか。

回答 企画課長

国の補助事業で交付されるお金は、用途が決まっているお金であり、ご指摘の公民館の費用は町が財源を確保しなければならないお金です。町は、財源が無い中で、破綻しないよう歳入と歳出のバランスを調整していく必要があります。

歳入が伸びれば良いのですが、地方交付税もリーマンショック以降に加算されていた部分が減らされていく見込みであり、町が自由に使えるお金がますます減っていくことになります。

町の財政は「入りをはかって出づるを制す」が基本です。ご理解をお願いします。

質問・意見

- ①自治組織の実態調査結果が紫波ネットに載っていた。私も自治公民館長になって今年で3年目。自治組織は任意組織だが、地域の中でも重要な役目を担っている組織なので、もう少し行政との関係性があっても良いのではないかと思う。

また、町内会、自治会、行政区長、それぞれに何か区分けをしているのか。紫波ネットにも「今後、社会の変化に対応した自治組織のあり方や町（行政）との関係など、持続可能な仕組みについて検討していきます」とあるが、具体的に何か考えているのか。

②自主防災組織と町の関係性が分からない。

③先日の豪雨時、エリアメールや有線でのお知らせがあったが、情報の受信者は限られていると思う。できるだけ町内全域に情報を伝える方法としてどのようなことを考えているのか。

④4月に防災計画の見直しに関する説明会が行われた。しかし、渡された資料が分厚く、押さえるポイントが分からないまま終わってしまった。民生委員や自主防災組織、区長など、立場ごとに細分化した説明会が必要なのではないか。また、今後も地区ごとに説明会があるようだが、各地区特化した説明をした方が分かりやすいのではないか。

回答 消防防災主幹

③避難勧告については、有線・エリアメール以外に、広報車でのお知らせを行いました。ただ今回は、そのお知らせをしている途中で解除になったという状況です。

②④防災計画は、災害時に、町と地域の方々がどのように助け合い、要支援者を早く避難させるか、減災することができるかということが念頭にあり、自主防災組織の役割などについても記載をしています。7月の説明会では、防災計画と**は**どのようなものか、地域でどのように取り組めばよいかについて懇談をしたいと考えています。

質問・意見

⑤自治組織との関係性は分かったが、民生委員や社会福祉協議会、警察・消防署などとの関連性はどうなっているのか。すり合わせはしているのか。

回答 消防防災主幹

⑤警察・消防署などの関連機関とは、計画段階からすり合わせを行っております。また、それぞれの内部でも災害時の計画が立てられており、町の計画との照合もしています。

また、民生委員や自治公民館長、区長の皆さんなど、地域を守る役割を担っていただいている皆さんとは、7月の懇談会の中で、1つの輪の中になって話し合い、それぞれの地域でどのように取り組んでいけば良いのかを考えていきたいと思っています。

回答 企画課長

①今回、自治公民館の実態調査を行ったのは、これまで地域のつながりを支えてきた組織であるということや、一部では役割が負担になっているという話も出てきていたため、現在の状況を一度把握しておきたいという思いからでした。

自治組織を構成する世帯は、8世帯の組織から740世帯の組織まで、地域によってさまざまな形態であります。また、それらの組織にはそれぞれに歴史や独自の取り組み方があるため、町から何かを画一的にお願いすることは難しく、また、それが押しつけになってしまいかねないとも思っています。

そのため、今後どういった形で町と自治組織とがつながればよいかを考えていきたいと

思っています。

質問・意見

①以前の座談会でも話したことがあるが、紫波南大橋の真ん中と両岸のつなぎ目の部分にでこぼこがあるので、修繕してほしい。

また、水没した立体交差の路面標示は参考になった。ありがとうございます。

質問・意見

②農村公園の管理について。町から地域に委託料が払われ、地元でも管理をしているが、先日、公園内で飲食して騒いだ集団が警察に通報され、逮捕者も出たようだ。当時、管理運営組合とは連絡が取れなかった。今後、もう少し明確に管理・運営の判断など、指針を出してほしい。

回答 建設部長

①ジョイントのでこぼこは、耐震性には影響はありませんが、アスファルトの下がり原因だと思われます。土木課に持ち帰り、補修方法を検討したいと思います。

回答 農林課長

②地元の管理組合と先日話す機会があり、今後の管理について話し合うことにしていました。追って地域の皆様にもお知らせしたいと思いますので、よろしく願います。

◎町長総括

★人口減少・雇用

人口減少に決定的な方策はないが、町からの流出を押さえることと、町に流入してくる人を増やすことに取り組む必要があると考えている。

雇用対策としては、町内企業の求人と高校生などの就職希望者とのマッチング、農業の後継者育成などを考えていきたいと思う。水稻栽培は国の政策とも関連してくるためなかなか難しいが、果樹地帯は、労働力が確保できればまだまだ拡大できるのではないかな。また、商工業などの他の産業についても、できる限り支援していきたい。

★少子化

現在、日詰地区での宅地造成が進み、日詰小学校が手狭になってきている状況。「子どもが多い方の学校から少ない方の学校へ」という話も出ましたが、学校が変わるということは、町村合併よりも難しい問題かもしれない。少ないところは少ないなりの取り組みも必要かと考えている。

町内でも、東部・西部と中央部では、異なる課題を抱えている。

★財政

本年度は、財政状況の厳しさから、公民館費用や介護予防事業など、微々たるお金を削

ったところもあるが、来年度以降はできるだけ戻していきたい。

人口減少時代の今、これまで続けてきた事業を残していくことよりも、子育て支援事業を進めていくことの方が町の将来のために必要でないかと考え、今後も予算と状況を見極めながら予算編成をしていきたい。

★保育・教育

「3つ子の魂100まで」と言うが、小学校に入るまでの期間の教育をもっと大切に考え、町民がもっと賢くならなければ、持続したまちをつくることはできないと思う。「今ある社会が将来どうなるか」ということを考えられる町民でなければ、財政的な問題ではなく、町がつぶれてしまうのではないと思う。

★まちづくり座談会での意見

本日さまざまな意見が出ましたが、参加人数も少ないので、出た意見は地域内で共有する必要があると思う。『紫波ネット』はみんなが見ているので、地域で出たさまざまな話を可能な限り載せていきたい。

まちづくり座談会 2015 ～水分公民館～

◆日時 平成27年6月22日（月）午後7時～9時

◆場所 水分公民館

◆参加人数 27人

◆役場出席者 町長、副町長、教育長、生活部長、産業部長、建設部長、環境課長、総務課長、生涯学習課長、企画課長、国体推進課職員、企画課職員3人

質問・意見

国体選手の宿泊施設はどうするのか。

回答 国体推進課職員

今回は民泊ではなく、町内宿泊施設と近隣市町村の宿泊施設を利用します。

質問・意見

子育て支援対策として、町は他市町村と違うどのようなことを考えているのか、具体的に教えてほしい。

回答 生活部長

町の保育施設としては、公設民営の虹の保育園があり、今後は民設民営も考え中です。地域みんなで子どもを育ていけるような保育施設を作りたいと、動き始めたところです。

質問・意見

①保育所には、障害のある子どもも預けられることようにしてほしい。

②水分地区だけでなく町内各地区に街路灯が少ないので増やしてほしい。習い事などに通っている子どもたちもいるが、親がみんな送り迎えできるとは限らない。オガール地区の街路灯を1本でももらいたい気持ち。

回答 生活部長

①障害の程度により、みんなと一緒に過ごせるかどうかなどで、入所をお断りせざるを得ない場合もありますが、できるだけ皆さんの意向に添えるように対応していきたいと思えます。

回答 建設部長

②町内の街路灯には2種類のものがあります。1つは、交通安全上危険な場所で町が設置し維持管理をしているもので、もう1つは、地域の要望により暗所などに設置するもので、町ではなく各地域で設置していただいているものです。

町では2年に1回、東北電力から街路灯を提供いただいております。本年度は8基の寄贈を受け設置する予定です。来年の国体の関係で、2基は佐比内地区のゴール地点に設置する予定ですが、残り6基については、後日行政区長の皆様から公募し、審査により必要度に

応じて優先順位をつけ、設置してまいります。

【補足】

教育委員会との調整により、佐比内サイクルパーク付近にはソーラーを使用した街路灯を使用し、寄贈の2基は自転車競技上付近に設置することになりました。

質問・意見

町長が公約に掲げていた雇用促進について、インターチェンジ付近への企業誘致の取り組み状況について教えてほしい。

回答 副町長

考え方については、最後に町長からお話しします。

インターチェンジ付近は農業振興地域に指定されており、現状では工業用地として使えないため、指定が解除されるように手続きを進めているところです。

=====休憩=====

質問・意見

①現在、蜂神社の鳥居から緑色のラインを引いているが、小中学生が通学する道路とずれている。できれば一本南側の道路に引いた方が、子どもたちの交通安全のためにもよいと思う。

②紫波総合高校から西側の道路の歩道整備計画について、進行状況を伺いたい。しかし、あと5年ほど経過すれば通学する子どももいなくなるので、早めに進めていただくか、5年以上時間がかかるのであれば整備の必要もないと思う。

③追分団地付近に調整池があるが、雨水調整や衛生面を考慮し、早めに雑草の撤去をお願いしたい。

回答 建設部長

③追分の調整池については、持ち帰って検討します。

【補足】7月中旬に浚渫と草刈りを実施しました。

①②水分地区の通学路の整備について。

現在、国の補助事業による正規の歩道整備は難しくなっているため、ラインを引いて歩行空間を確保する「歩行空間整備」事業を進めています。

蜂神社より1本南側の道路の測量調査は、本来は昨年から着手する予定でしたが、一昨年の大雨災害の復旧工事が膨大であったため、着手できませんでした。本年度から測量を行うことになっているので、ご理解いただきたいと思います。

質問・意見

小学校の統廃合についての考え方を、言える範囲で良いので教えてほしい。

回答 副町長

「子どもが少ないから統廃合」という考え方はせず、「子どもたちがどのように育ってい

ってほしいか」ということについて、今年から審議会を立ち上げて考えていきます。審議会からは来年答申をいただきますが、総合的には4～5年かけて考えていきたいと考えています。

質問・意見

- ①地区公民館は教育委員会の施設なのか。
- ②地区公民館に、地域の仕事（役員事務など）を指導員に委託することはできるのか。
- ③水分公民館は農水省の補助金で建てた建物なのに、農林業の団体の人たちが使用料を支払わなければならないのはおかしいのではないか。

回答 生涯学習課長

- ①地区公民館は、生涯学習を目的とした教育委員会の所管の施設であり、地区公民館長と指導員は、町から辞令を出している職員です。
- ②水分地区全域に関連するような公共性のある内容であれば、事業として行うことが可能かと思いますが、各地域の経理や産業など、生涯学習の範囲を超えるものであれば引き受けることはできません。
- ③水分公民館は農水省の補助金で整備したものです。町の施設になった時点で、町の所管になります。現在、町の公共施設の料金は、町民と町外の人とに分けてそれぞれに金額が定められています。

回答 企画課長

- ③その施設が町の施設になった時点で、利用者から使用料を納めていただく場合には、公の施設の設置条例により使用料を定めなければならないようになっています。

質問・意見

ごみ集積所が古くなり、危険なくらい腐食が進んでいる。環境課で補助金の手続きをしたが、別の書類が必要と言われ、2回ほど足を運んだが、「前期の予算がなくなった」と言われた。1万円の補助をもらうくらい、もう少し簡単に早くできる手続きにしてほしい。

回答 環境課長

ごみ集積所の補修費用の予算枠が少なかったことと、制度の申請についての周知方法に問題があったと反省しています。申請自体は複雑ではないので、来年に向けて改善していきます。

質問・意見

オガールの駐車場が少ないのもっと広くしてほしい。産直発展のためにも、もっと自由に使えるスペースをとってほしい。

回答 副町長

オガールプラザの南側には90分以内であれば無料、90分以上は1回100円の駐車場があ

りますので、そちらも合わせて利用していただければと思います。

質問・意見

- ①追分の調整池の清掃や、宮手川の河川改修の後に照井工務店が通った道路の補修依頼を山下さんという職員に文書で提出していたので、確認して対応をお願いしたい。
- ②子どもが特に通っていない追分地区の道路に緑色のラインが引かれており、地域の人からよく聞かれる。また、歩道整備計画について、もう少し具体的に教えてほしい。

質問・意見

- ③片寄小学校の脇に告知信号の設置を検討してほしい。事故も発生している見通しの悪い道なので、お願いします。
- ④5～6年ほど前、紫波総合高校の北側で高校生が事故に遭った。亡くなった生徒は、娘の同級生だった。その後、歩道ができるという話はあったが、なかなかできなかった。行政が勘案している危険性と実際に子どもたちが体験する危険は全く違っていると思う。歩道が必要な場所とは、子どもが通学している場所だと思う。使う人のことを考え、早く整備してほしい。

昨年、センサーライトの公募があった。もし、それにお金を回す必要があるのであれば、街頭1基つけてほしい。

さまざまな事業があるかと思うが、何が本当に大事かを考えて、優先的に事業を進めてほしい。

- ⑤紫波中央駅の東側の駐車場があまり利用されていない。駅へのアクセスをもっと考えてほしい。
- ⑥ケヤキ通りは、なぜあのような見苦しい状態なのか。町の木なのだからもっと大切にしたい。総合体育館の木も枝が払われてしまい、丸太が立っているような状態。これから国体でたくさんの人たちが町を訪れるので、もっと木らしく手入れをしてほしい。

回答 建設部長

- ①調整池については、確認の上、検討させていただきます。

【補足】7月中旬に浚渫と草刈りを実施しました。

- ②追分地区の道路に緑色のラインが引かれた経緯も把握しておりませんでしたので、確認したいと思います。

また、水分線の歩道整備につきましては、一昨年の災害の復旧工事のため、予定していた昨年には行うことができませんでした。そのため、昨年の予算を繰り越し、測量を行いますので、よろしくをお願いします。

【補足】上記道路は、平成24年度の通学路点検により施工場所を決定したもので、平成26年11月に各学校に説明をしています。今回の誤解については、7月13日に水分小学校に行き、スクールガードの皆さんに説明し、理解をいただきました。

- ④ご指摘は、貴重なご意見として、持ち帰らせていただきたいと思います。

⑥ケヤキの木は確かに町の木ですが、そもそも街路樹としてふさわしかったかどうかという考え方もあります。しかし、せっかく植えた木ですので、ただ伐るというのではなく、間引きなどの手法も取り入れながら管理していきたいと思っています。いただいたご意見を持ち帰り、今後の剪定方法などを再度検討してまいります。

回答 経営支援部長

③志和地区でも同じ意見があり、現地の確認も行いました。片寄小学校の西側にサクラなどの木々が5～6本立っており、伐採することで少し見通せる部分もありそうです。しかし、記念樹などかもしれないので、切れる範囲で整備したいと思います。

また、信号の設置については、各地区の安全協会から要望をいただき、警察に要望するという流れになっていますので、よろしくお願ひします。

【補足】安全協会と相談し、信号機の案内看板を設置する方向で動いています。

回答 建設部長

⑤紫波中央駅東駐車場は109台分のスペースを確保しているのですが、平日の利用平均はご指摘のとおり約15台です。

実は、平成14年には約5億数千万円をかけて地下自由通路を作る計画があったのですが、大雨災害が発生し、事業は凍結されました。その後、駅周辺では、民間の宅地開発が進み、駐車場用地の確保が困難になる可能性がありましたので、将来的に地下通路を作った場合のことも考え、用地を買い取り、駐車場を整備したところでもあります。今はまだ駐車台数が少ない状況ですが、近い将来には絶対に必要になるという思いで先行投資して整備しました。ご理解をお願いします。

質問・意見

①水分地区の今後の道路舗装計画を知りたい。

質問・意見

②サン・ビレッジ紫波で定期的にグラウンドゴルフをしており、人工芝に印をつけたいのだが、了承してもらわなかった。健康寿命の延長・医療費削減なども考えて活動しているので、ぜひ検討してほしい。

回答 建設部長

①舗装は、請願を受けた道路について、優先順位をつけて進めているところでもあります。舗装には膨大なお金がかかるため、現在は、年間に3路線くらいしかできないのが現状です。

回答 生涯学習課長

②サン・ビレッジ紫波は、グラウンドゴルフ以外にもテニスやサッカーなど、さまざまなスポーツサークルに利用されています。各団体に協議してみたところ、印をつけることによって競技に支障がでる場合もあるということもあるようですので、別の方法などの可能性についてご相談に応じていきたいと思っています。

◎町長総括

★雇用

インターチェンジ周辺については、企業からの問い合わせが何件も来ている状況だが、農業振興地域として指定を受けている地区であることから、すぐに誘致することができていないのが現状。現在町では、農業振興地域の解除につなげるための手続きを進めているところ。その他でも、町内に良い場所がないかという問い合わせもあり、個々に対応しているところ。

★少子化・人口減少

若い人たちに住んでいただくためにも、できるだけ多くのニーズに合わせた保育園の整備など、人口を維持していくための政策が必要だと考えている。

日詰・赤石地区では宅地造成が進み、小学校が手狭になっている状況である一方、西部地区・東部地区は少子化が進んでいる状況。本年度から、今後のまち全体の教育のあり方について考える教育審議会を立ち上げて、「紫波町の子どもたちにとってどのような環境で育ち、どんな力をつけていくことが一番よいのか」ということについて検討していきたい。

★オガール地区の駐車場

産直前の駐車場は空いているときもあるが、混むときは、路上駐車も出ている。周辺の駐車場もあるが、そこが埋まってしまったらどうしようもないので、もう少し考えさせていただきたい。

★道路の舗装と予算

請願路線は山積みの状態ですが、進められる範囲で進めている状況。

今年は庁舎の移転、一昨年8月9日の災害の復旧工事などがあり、大変厳しい予算編成だった。介護や子育て支援、国民健康保険などの制度が変わったこともあり、予想以上に民生費がかさみ、今後も確実に増えていく状況。今後、私たちはできるだけ元気で長生きし、若い世代にできるだけ負担をかけないようにしていく必要がある。大きく予算がかかるものは、計画を立てながら、進めてまいりたい。